

学校跡施設利活用に伴う（仮称）学校記念品展示計画案

平成23年度末をもって閉校する広葉小学校、若葉小学校、高台小学校、緑陽小学校の4校で使用されてきた校旗、校章をはじめ校内にある保存展示に相応しいもの（記念品）を学校跡施設に保存展示することによって、地域の記憶を継承する。

推進方針1 4校の廃校に伴い、各校の思い出となる歴史物や記念物を展示する。

1) 展示場所について

- イ) 展示場所は、公共目的で利用する校舎跡とする。
- ロ) 公共目的で利用する施設に4校分をまとめて展示する方向も検討していく。
- ハ) 校舎跡の生徒玄関ホール（昇降口）の活用を予定している。

2) 内容について

基 準	品 目	形態
イ) 現物保存し、展示するもの	校名板・校歌板・校旗・校章パネル	壁付け展示
ロ) 写真パネル等で、展示するもの	航空写真・校舎外観・閉校時集合写真（最終年度）	パネル・壁付け展示
ハ) 現物保存し、展示しないもの	歴代校長写真・国などの表彰状・卒業アルバム（すべての年度）等	鍵付収蔵BOXに格納
ニ) 写真等複製物で保存。現物は原則廃棄 （※特に希望のあった場合のみ、各校で対応）	卒業記念制作物	アルバムにして引出格納
ホ) 展示を目的にせず、現物管理が必要なものは別扱い	表簿類	1～2教室分を別に確保
ヘ) 各学校で作成する閉校記念誌を展示する。	閉校記念誌	拡大版を作成
ト) 4校のホームページは、教育委員会ホームページに閉校記念誌の内容を掲載する。	おもいでの学校のコーナーに4校の閉校記念誌データを掲載	教育委員会サーバー

※ 品目については、教育委員会文化課がリスト化していく。その後、想定外の物品や保管・回収の手段などについて各校ごとに調整を行う。

3) 展示方法について

イ) 別紙の展示ケース仕様書案※2 のとおり検討しているが、学校跡利用計画によっては H25 年度の改修工事と合わせての調達になる可能性もある。10 月末までには決定。

推進方針 2 現物保管しない歴史物等について廃棄処分を行う。

展示に要しない現物、収納BOXに入らない現物、撮影を終えた卒業記念制作物などを原則廃棄とするが、一部の学校によっては、特に希望のある個人の制作物について返還することもある。

添付資料

資料①：スケジュールと業務分担 3p

資料②：「展示ケース仕様案」 4p

資料①：スケジュールと業務分担

業務項目	平成23年									平成24年			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
会議および打合せ		学校訪問	打合せ			全体調整					全体調整		
展示場所に関して						展示場所を想定 (生徒玄関ホール)				展示場所決定見込み			
展示内容に関して			選定	文化課による展示 計画案作成		計画決定	リスト化				確定		
現物展示・現物保管に関して						各学校で現物保管						移動・回収	展示・格納
記念帳に関して			写真撮影			閉校記念誌と同様						制作	展示
ホームページに関して						閉校記念誌と同様						制作	掲載
展示ケースに関して					仕様検討		購入時期の決定						
表簿類について													

※ 表簿類の保管内容・手段については、教育総務課と調整する。面積は確保されている。

資料② 展示ケース仕様案

